

クラス：	<h1 style="text-align: center;">深掘りボキャブラリー</h1> <h2 style="text-align: center;">EVoM-60H</h2> <h3 style="text-align: center;">(ハイブリッド授業＋アーカイブ対応)</h3>
曜日：	Saturday (隔週)
時間：	11:00-12:50
レベル：	中級
講師：	Ms.大石美幸
目的：	<p>発音・文法に並ぶ語学学習の要、「語彙」の充実を目標とします。「数」ではなく、「正しい使い方」に重点を置いた、「実際に使えるボキャブラリー」を目指します。</p> <p>語学学習の悩みトップ三位に挙げられるのが、「文法」、「語彙」、「聞き取り」と認識しますが、実はその三つは同じ「根」でつながっています。</p> <p>語彙学習というとその数を問題にしがちですが、大事なことは、数よりも実際に「使える」ことです。実際に使うにあたり、その下支えとなるのが「語法」です。「語法」とは何か。いわゆる「文法」で、文の骨格、構成を知ったなら、次はその構成要素である「語」や「句」を正しく選び正しく当てはめていくこと。基本5文型の枠にシンプルで構わないので正しい「語」「句」を正しく当てはめられれば、それだけでよい英文です。そうしたよい英文を自分で組み立てることができれば、「文法、語彙を実際に使えた」ということになり、それに音声をつけて繰り返し練習すれば「聞き取り」の向上にもつながります。自分で組み立てられない文は聞き取れません。</p> <p>シンプルな文が組み立てられるようになったその次は、いよいよ文の構成要素、わかりやすく言うと部品・パーツにあたる語彙を充実させ、「言いたい、表したいこと」により迫れるようにする過程に移ります。この過程こそが真の語彙学習で、当講座の目指すところです。繰り返しますが、数ではなく「語法でおさえる」ことがキー・ワードです。</p>
授業内容	<p>テキスト <i>English Vocabulary in Use</i> (一章見開き二頁構成) に沿って学んでいきます。原則、一レッスン一章ずつ (左頁 Learning points をクラス内で、右頁 Exercises を復習・宿題頁として) 進めていきます。クラス内で扱うときは、ただ本をなぞるのではなく、解釈と音読で、ポイントを身体に覚えさせ、「使える」ことを目指します。</p>
教材：	<i>English Vocabulary in Use, Pre-intermediate and Intermediate, 4th Edition; Cambridge University Press</i>
備考：	<p>Unit 5 Country, nationality and language より始めます。</p> <p>ハイブリッド授業＋アーカイブ対応： オンライン参加可能、授業動画はクラスルーム経由で授業後にご視聴いただけます。</p>